

文学部、情報学部 (人間・社会情報学科)

問題 I

問 1

朝鮮式山城は白村江の敗戦を受けての防衛政策を背景に九州地方北部などに造営され、城柵は蝦夷の地への支配領域拡大のために東北地方に造営された。多賀城は政庁を築地などで取り囲む構造を持ち、陸奥国府の機能も有した。

問 2

同戸内の正丁3人のうち1人の割合で徴発された兵士を対象として、そのなかから一部が衛士として選ばれ、京へ動員された。

問 3

庸を財源とする食料を民部省が衛士らに差配するために、庸の課税台帳である計帳を参照することで、その量を把握していた。

問 4

伴善男が応天門に放火し、その罪を源信に負わせようとしたことが発覚し、流罪に処せられた。この応天門の変によって伴・紀氏など伝統的な氏族が没落する一方、藤原良房が正式に摂政となり、藤原北家の勢力が拡大した。

問 5

京 検非違使 宮中 滝口の武者

問 6

京都大番役として諸国の御家人が動員され、守護がそれを催促した。

文学部、情報学部 (人間・社会情報学科)

問題 II

問 1

日元間では戦争状態に陥ったものの、北条氏の創建になる建長寺の再建費用を得るための建長寺船を幕府も派遣するなど、貿易船の往来は活発だった。

問 2

月に三度開かれる三斎市など定期市が各地で開かれ、市のたつ日には掘立柱による仮小屋が設置され、米や布、履き物など商品が活発に取引された。

問 3

『徒然草』。鎌倉時代の後期。

問 4

さいふ。割符は遠隔地間の為替手形であり、替銭屋で現金化できた。領主は安全に年貢納入を受けることができた。また、軽量で持ち運びやすいため、農民は重い現物や現金を運ばずにすみ、輸送途中の盗難の危険も回避できた。

問 5

領国内に宿駅を整備してその住民に伝馬役を課し、保護と統制を加えつつ、円滑な情報伝達のために伝馬を安定的に用いることができるようにした。

文学部、情報学部 (人間・社会情報学科)

問題Ⅲ

問 1

㊦

藩主の格の変化や軍役量の変化があったと考えられる。

㊧

年貢量の増減の変化があったと考えられる。

問 2

九州北部

フェートン号事件があった長崎があるなど外国船が来航する要地のため。

近畿地方

京都には朝廷があり、守護すべき天皇がいる重要地のため。

問 3

大名などの反乱を防止する役割が期待できる。裏付けとして、江戸でおこった幕府転覆未遂事件である由井正雪の乱を示せばよい。

問 4 .

時期 松平乗祐以後の時期に出現した。

理由

藩の石高が6万石に増え家臣の増加に伴い、居住地として武家地を拡張した。

問 5

(1) 兵農分離

(2) 識字能力のある武士にかわり、農民が領主の通達などを読む必要が生じた。

文学部、情報学部（人間・社会情報学科）

問題IV

問 1

広く国民に趣旨を伝えるため、語彙力が不足する者にも分かるように考慮した。

問 2

従来は学問を修める者は、為政者である武士らに限定されていた。しかし、国民皆学を目指す新体制では、日常生活においても、身分や性別にかかわらず学問は必要であり、立身出世のために専門分野の学問も必要であるとしている。

問 3

学制は地域住民に設立資金などの負担を求め、小学校の設立は遅れ、授業料などの負担も忌避された。同時に学齢期の子は大切な労働力でもあったため。

問 4

日中戦争が始まり、「内鮮一体」を掲げ皇民化政策が進められた。しかし、日本語の普及は遅れ、臣民としての忠誠を徹底させるためハンゲルを付した。

問 5

教育二法を巡る国会の混乱や、新教育委員会法が制定され、「逆コース」が明確化し、教員の勤務評定が強行されるなど、教育への国家統制が強まった。

問 6

安保自動延長反対やベトナム反戦運動が高揚するなか、大学の産学共同路線などに抗議する学生運動が全国の大学を覆い、大学占拠の闘いが広まった。